

“抗がん剤治療による吐き気止めとしてオランザピンを処方された患者さんへ”

「シスプラチンなどの抗がん剤治療に伴う吐き気・嘔吐」に対して、オランザピンが保険適用の対象になりました。

オランザピンは「統合失調症」や「双極性障害における躁症状およびうつ症状の改善」に使われるお薬ですが、抗がん剤による吐き気や嘔吐を引き起こす神経伝達物質の作用を阻害する働きがあるといわれています。この働きに注目し、抗がん剤治療を受けている患者さんを対象に行われた試験で、吐き気・嘔吐を軽減する効果があることが確認されたため、厚生省の審査を経て、2017年6月9日付けで、公知申請という枠組みで保険適応となりました。

●注意する事・副作用

・糖尿病の方や糖尿病といわれたことのある方は、この薬を服用することはできません。

糖尿病の無い方でも、繰り返しこの薬を服用すると血糖が高くなる場合があります。血糖値が高くなると、次のような症状があらわれる場合があります。このような症状が見られたら、必ず主治医に連絡し、早めに診察を受けるようにしてください。

- ・激しいのどの渇きが続く
- ・水やジュースをたくさん飲みたくなる
- ・何回もトイレに行きたくなったり、尿の量が多くなったりする

・主な副作用として、体重増加、食欲増進、眠気、便秘、アカシジア（じっとしている事ができない）などが表れることがあります。

・服用を始めてしばらくの間、**めまい、動悸、立ちくらみ**などがおこることがあります。心筋梗塞などをおこしたことがある人、心不全の人、脳血管の病気や血圧の低下がおこりやすい状態にある人（脱水状態、血圧降下剤による治療を受けているなど）は注意してください。

・**眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下**がおこることがあるので、**高所での作業や自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。**

・**飲酒により薬の作用が強くなる**ことがあるので、注意してください。

・**喫煙により薬の作用が弱くなる**ことがあるので、注意してください。

・**ご高齢（75歳以上）の方は**、副作用が強くなる可能性があるため、上記の症状に特に注意が必要です。

■対象となる医薬品

ジプレキサ錠 2.5mg、同錠 5mg、同錠 10mg、同細粒 1%、同ザイデイス錠 2.5mg、同ザイデイス錠 5mg、同ザイデイス錠 10mg

■この薬の飲み方

強い吐き気や、嘔吐を生じる抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）の実施に際して使用します。原則、他の制吐剤（ステロイドとアプレピタントとセロトニン受容体拮抗剤）との併用において使用し、1日1回**5mg**を服用します。1日量は**10mg**を超えないこと。抗悪性腫瘍剤の各投与サイクルにおいて投与期間は**6**日間までを目安とすることが厚労省から示されていますが、これまでの臨床データからは、4日間服用が望ましいと考えられています。